



夏休み★あじびパレットーあか、あお、きいろってどんな色？

2013年7月4日(木) ～ 10月15日(火)
アジアギャラリーB

私たちの世界は、様々な色であふれています。真っ青な海、赤く輝く太陽、新緑の木々や色とりどりの草花。そのどれもが、まるで私たちに与えられた地球からの贈り物のようです。この素晴らしい自然の色彩を、もっと自由に使いたい。私たちの祖先は、きっとそんな思いを抱いてきたのではないのでしょうか。

現在、私たちは、自由に色を選んで、使い、楽しむことができます。それは、先人たちの努力が、自然の素材から色を取り出し、それらを混ぜ合わせたり、化学反応を加えたりすることで、自由に色を作り出すことを可能にしたからです。

本展では、もう一度、色という「美術」の原点に立ち返ってみたいと思います。色の世界にどっぷりとつかることのできる、「色とりどりの部屋」から始まり、「あかい部屋」、「あおい部屋」、「きいろい部屋」という、4つの部屋を用意しました。きっと誰もが知っている色でも、じっくり見ていくと、素材やその用いられ方によって違いがあるでしょう。また、その人が持つ文化や経験によっても、色の持つ意味は変わってくるでしょう。ぜひ、それぞれの色にどんな思いがこめられているか想像してみてください。きっと色から広がる、新しい発見が見つかるかもしれません。

	作者名	作品名	素材／技法	制作年
1	ダリ・アル・マムーン	彼等がスピーチをしている間	油彩・画布	1988
	孫雅由(ソン・アユ)	色の位置OC87-14	油彩・綿布	1987
	リム・ポーテク(林保徳)	スリリング・シティ No.5	アクリル・画布	1991
	アルパナ・コウル	体は衣に過ぎず	油彩・画布	1993
	作家不詳	マドゥスーダン(ヴィシュヌ神)	グワッシュ・紙	1980年頃
	作家不詳	無題	グワッシュ・紙	1985年頃
2	ディン・イー(丁乙)	十字の出現 99-7	アクリル・タータン地の布	1999
	チョーン・カムコウ(鍾金鈞)	層をなす龍の伝統Ⅴ	アクリル・画布	2006
	ミン・ウェー・アウン	傘を差す僧	油彩・画布	1996
	ニェイン・チャン・スー	すいか	油彩・画布	1998
	ツァーガンダリン・エンフジャルガル	赤いテーブルまたは蟹気楼	油彩・画布	1992
	ロベルト・フェレオ	ナーダの求婚者たち	アクリル・にかわ・木	1987
	作家不詳	オームの抽象形	グワッシュ・紙	1985年頃
	ラージャー・バブ・シャルマー	無題	グワッシュ・紙	1989
3	ハジ・マルシディ・ビン・ハジ・アキブ	シンフォニー No.22 (風の季節 No.14)	油彩・画布	1986
	チョン・ソンウ(全晟雨)	青華曼陀羅(雲海) 0040	油彩・画布	1998
	パンヤー・ウィチンタナサーン	冷戦	テンペラ・紙	1979
	シャグダルジャヴィン・チメドルジ	朝	油彩・画布	2000
	ビレン・デ	'90年2月	油彩・画布	1990
	アハマッド・サダリ	平面のなごりと金色の棒	油彩・画布	1977
	ラージャー・バブ・シャルマー	無題	グワッシュ・紙	1989
	ラージャー・バブ・シャルマー	無題	グワッシュ・紙	1991
4	オ・イリヤン	無題	エッチング・紙	2004
	オ・イリヤン	無題	エッチング・紙	2004
	ニルーファル・チャマン	結ばれるもの 3	油彩・板	2002
	ニルーファル・チャマン	「パキラ、オ パキ アグンタ ニビエジャー」	油彩・板	2003
	シーマ・ヌスラット	無題 2	ネクタイ	2007
	作家不詳	ビンドゥ 1	グワッシュ・紙	1989
	作家不詳	ビンドゥ 2	グワッシュ・紙	1989
	作家不詳	ビンドゥ 3	グワッシュ・紙	1989
	作家不詳	ビンドゥ 4	グワッシュ・紙	1989